

令和8年度 学校経営方針

菊川市立菊川西中学校

1 「学校経営」の土台となるもの

(1) 学校教育は、法と政策の下で行われている。

文 科 省	新中学校学習指導要領、令和3年度に完全移行して6年目。 <ul style="list-style-type: none">・『主体的対話的、深い学び』の全教科での導入・AIの普及、少子高齢化、環境問題、防災など21世紀の新たな課題・資料活用、思考力、判断力、表現力など新たな力が求められている・付けたい力を明確にした教科横断型教育課程運営（カリキュラム・マネジメント）・道徳教科化、小学校からの英語学習、プログラミング教育
静 岡 県	静岡県教育振興基本計画「有徳の人づくり」（2022～2025年） <ul style="list-style-type: none">・「文・武・芸」三道の鼎立を目指す教育の実現・未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現・社会総がかりで取り組む教育の実現
菊 川 市	菊川市教育振興基本計画（2024～2026） <ul style="list-style-type: none">○基本理念 豊かな学びで歩み続ける人づくり○「豊かな学びで歩み続ける人」とは… ～自立した人、思いやりのある人、いつまでも学び続ける人～○基本方針2【学校教育】 「確かな学力、健やかな心身」の育成を目指した、知・徳・体のバランスの取れた教育の推進 →学校・家庭・地域の連携促進並びにICTの活用等を通して、主体的に課題を見つけ、自ら考え行動する健康で心豊かな児童生徒の育成に努めます。

(2) 学校を知る、地域を知る。

生徒

- 学校教育目標や重点目標を意識して行動している。
- 行事や委員会活動、部活動に主体的に取り組んでいる。
- 落ち着いた雰囲気である。
- △自分の力で困難を乗り越えたり折り合いをつけたりする力が弱い傾向にある。
- △人間関係づくりや対人コミュニケーションを苦手とする生徒が見られる。

教職員（学校）

- 生徒指導主事を中心に「発達支持的生徒指導」の理念や手法が浸透してきており、生徒理解が進んでいる。
- 若手や中堅の学級担任の日々の献身的な関わりと、それを支えるベテランの級外職員の態勢がある。若い力が学校全体の活力や推進の源となっている。
- 県・市会計年度任用職員等の力が、学校や教職員をサポートしている。
- △キャリアステージに基づいた資質能力の育成（研修を充実、絶え間ない授業改善）
- △教員としての基礎基本の向上（資質能力、人間力の向上）
- △働き方改革への意識向上と働き方の見直し（ワーク・ライフ・バランス）

保護者（家庭）

- 菊川市のシンボリック的存在であることへの意識と期待が高い。
- 教育活動や PTA 活動に大変協力的である。
- 子どもとの関わりに熱心である。
- 学校の思いや考え方、取組に理解がある。

地域

- 菊川市をリードする地域であることの自負がある。
- 学校の教育活動に対して協力的であり、よき理解者である。
- 地域の子どもを大切に、地域ぐるみで育てていこうとする意識が高い。
- △各小学校区ごとの歴史や風土が大きく異なり、中学校区として一つにまとまることに困難さがある。
- △地域によっては、地区コミュニティの維持に課題がある。

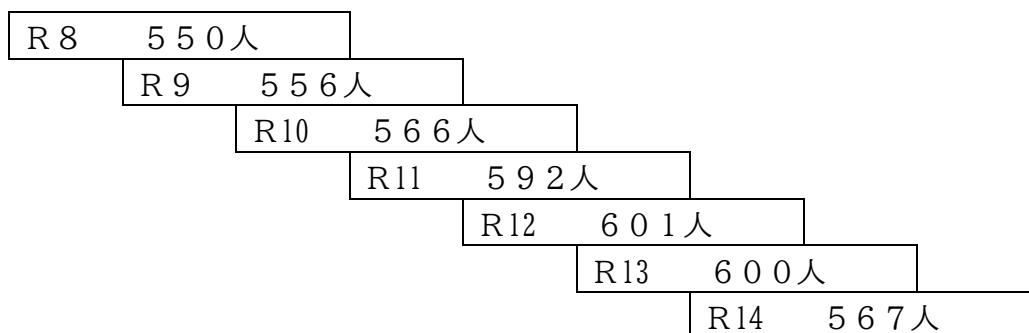
(3) 見通しをもち、持続可能な学校を。

① 令和 8 年度学級数・生徒数（令和 8 年 4 月 1 日 現在）

学年	学級数	通常学級 生徒数	特支学級 生徒数	在籍生徒合計
1 年	6	1 8 4	(知) 3、(自情) 4	1 9 1
2 年	6	1 8 9	(知) 4、(自情) 3	1 9 6
3 年	6	1 7 7	(知) 5、(自情) 3	1 8 5
特別支援	(知) 2、(自情) 2		(知) 12、(自情) 10	
合計	2 2	5 5 0	2 2	5 7 2

② 今後の生徒数の変化（独自調査による）

令和 8 年度の学年	中 3	中 2	中 1	小 6	小 5	小 4	小 3	小 2	小 1
通常学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6
通常学級生徒数(人)	1 7 7	1 8 9	1 8 4	1 8 3	1 9 9	2 1 0	1 9 2	1 9 8	1 7 7



2 令和8年度の学校経営

(1) 学校教育目標 地域に誇れる 地域が誇れる菊西中

胸を張って地域に発信や貢献ができる生徒、学校の姿を目指す。そんな生徒や学校の姿を、地域が誇りに感じてもらえるようにしたい。

また、菊川市という地域の統合の象徴として、大事にされる学校を目指す。

(2) 重点目標 自立 共生

「自立 共生」の具体的な生徒の姿

- ・自分（たち）で考える
 - ・自分（たち）で決める
 - ・自分（たち）から行動する
 - ・自分（たち）を見つめる
 - ・しなやかに乗り越える
 - ・他者の意見に耳を傾ける、認め合う
 - ・みんなにとってよりよいもの（こと）を目指す
 - ・みんなで励まし合う、支え合う
- そして、みんなで乗り越える

(3) 卒業の姿、期待する将来の姿

責任ある選択ができる社会人に。将来、ふるさと菊川で活躍する若者に。

(4) 学校教育目標、重点目標にせまるために

◎ 全ての活動を、重点目標「自立 共生」の育成につなげる

- ・「自立」とは、他者からの助けを受けず、自分の力で判断し決定し行動できること。そして、その結果に対して自ら責任をもつこと。「共生」とは、さまざまな違いがある人々が、互いを認め合い対等な立場で共に生きること。そして、自分以外の誰かのために、感謝の気持ちをもって行動できること。
- ・活動を始める前に、「〇〇における自立の姿とは…、共生の姿とは…」という具体的な姿を生徒と教職員が共有する。その姿がそのままその活動の目標となり、スローガン（柱）となる。
- ・自分で自分の姿を評価するのはとても難しい。教職員が、また生徒同士で、「自立 共生」につながる姿を、積極的に発信し称揚する。「学校賞」を新設する。

◎ 教育観の転換 キーワードは「多様性・選択・責任」

- ・【多様性】西中生には、互いの多様性を認め合い、高度に多様化した社会を生き抜く力を身につけた人になってほしい。
そのために教職員、生徒や保護者、社会や時代の多様性を認め、新たな指導を積極的に進めていく。
- ・【選択】西中生には、多様な価値観がある中で、自分の意志で判断し決めることができる力を身につけた人になってほしい。
そのために教職員は、できる限り多くの選択肢を示す指導をする。
- ・【責任】西中生には、自分で判断し決めたことに、責任をもつ人になってほしい。
そのために教職員は、さまざまな知識やスキル、経験（責任ある選択ができるための道具）を与える。

『選ぶ（決める）のは、あなた。その結果に責任をとるのも、あなた。それが社会人（大人）というもの。』

◎ 生徒が主役

- ・これまで生徒指導主事を中心に進めてきた「発達支持的生徒指導」の理念と手法をさらに深め、全ての教育活動における指導の基本とする。
- ・「いいね」と「ありがとう」で人を育てる。前向きボイスシャワー。リフレーミング。
- ・学級経営や生徒会活動、学校行事や部活動など、生徒を「認めて、委ねる」活動を、より一層意図的に仕掛ける。
- ・これまで教職員で決めることが当たり前だったことにも、生徒を積極的に参画させる。

◎ 歴史と伝統のある「菊西中らしさ」を大切に

- ・本校は、菊川市の中心部に位置し、旧菊川町から引き継ぐ歴史と伝統をもつ学校であるという「誇り」を大切にしたい。また、市内3中学校の中で最も大きな規模をもつおかげで、さまざまな恩恵を受けている（困難もあるが…）ことも忘れてはならない。
- ・生徒と教職員が共有できる「菊西中の自慢」を増やしたい。

◎ 令和の時代の持続可能な学校を

- ・菊川市の施策として、「合同部活動・学校部活動の地域展開」や「コミュニティースクール」などが進んでいる。これらの施策に対応できるよう、長期的な視点で計画的に取り組む。また、学舎内の小学校や市内の中学校と連携して取り組む。
- ・コロナ渦の経験や時代の変化をふまえて、「変わらないこと」、「変えてもよいこと」、「変えなければならないこと」を適切に判断する。
- ・「学校で（教職員が）指導すること」と「家庭で（保護者が）指導すること」、「地域や外部機関に任せること」を、前例にとらわれずに適切に判断し、ゆるやかに進める。

◎ 生徒とともにいきいきと働く教職員

- ・生徒にとって安全で安心な学校を目指すことと同様、教職員にとっても安全で安心な職場でありたい。
- ・時間や労力を惜しまず「生徒のために」という気概をもった本校の教職員の思いに甘えることなく、適正な勤務になるよう変えていく。
- ・「多忙感」の解消を目指す。「計画的であること」と「必要な時に必要な時間を確保すること」を全教職員で考えていく。

(5) 学校評価（指標）

- 1 学校が楽しい…95%（強 63%）
- 2 みんなで何かをするのは楽しい…93%（強 77%）
- 3 授業に主体的に取り組んでいる…90%（強 52%）
- 4 授業がよくわかる…90%（強 40%）
- 5 学校に信頼することのできる先生がいる…90%（強 57%）
- 6 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある…80%（強 20%）
- 7 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う…90%（強 59%）
- 8 授業では、PC・タブレットなどの ICT 機器をどの程度使っているか
 - 8-1 調べる場面での活用…ほぼ毎日 70%（ほぼ毎日 32%）
 - 8-2 意見を交換する場面での活用…ほぼ毎日 50%（ほぼ毎日 12%）
 - 8-3 考えをまとめ発表する場面での活用…ほぼ毎日 50%（ほぼ毎日 16%）
- 9 菊西中が好きだ…95%
- 10 自ら考え、行動できたか（自立）…90%
- 11 自他の幸せを考え、誰かのために行動できる（共生）…90%

※ 同じ肯定意見 90% でも、強肯定を 50% 以上に伸ばしたい。

※ 1～8 の項目は、市内小中学校統一項目である。

※ 9～11 の項目は、生徒指導数値目標である。

※ （強○パーセント）は生徒の強肯定の割合である。